

看護学生の卒業時技術到達度の実態調査

坪川麻樹子¹⁾、佐藤純子¹⁾、宇田優子¹⁾、中山和美¹⁾

1) 新潟医療福祉大学 健康科学部看護学科

【背景・目的】近年、国民の保健医療福祉の意識の高まりとともに看護に対する期待も大きくなっている。看護基礎教育において、チーム医療の推進や他職種との役割分担・連携の進展や必要な知識・技術の習得に加え、いかなる状況においても知識、思考、行動というステップを踏み成長していくような教育の提供が不可欠であると示されている¹⁾。しかし、看護教育の内容と方法に関する検討会報告書²⁾によれば、限られた時間の中で学ぶべき知識が多く、カリキュラムが過密になっているため主体的に思考して学ぶ余裕がない。臨地実習において実際に対象の看護を行うよりも看護過程の展開における思考プロセスに重きを置いて指導することが多く、技術等を実施する機会が減少している場合も見受けられるなどの課題がある。そこで本研究では看護基礎教育の充実に関する検討会報告書³⁾において提示された142項目の到達度の実態を明らかにし、今後の看護技術習得や卒後教育へ向けた示唆を得ることを目的とする。

【方法】1) 調査対象者・方法：H27年度卒業見込みのA大学看護学科4年生を対象にH28年2月に集合自記式質問紙調査を行った。2) 調査内容：報告書³⁾にある「看護師教育の技術項目の卒業時到達度」の142の技術について、卒業時の到達度レベルⅠ～Ⅳ段階で調査した。到達度レベルは、Ⅰ：単独で実施できる、Ⅱ：指導の下で実施できる、Ⅲ：モデル人形で実施できる、Ⅳ：知識として分かる、のうち、一つを選択してもらった。3) 分析方法：厚生労働省の定めた142の技術項目について、本学学生の到達度を単純集計し、70%以上の回答割合と50%未満の回答割合について分析した。4) 倫理的配慮：新潟医療福祉大学倫理委員会の承認を得て行い、対象者へは研究の意図及び倫理的配慮の内容を文書と口頭で説明し、同意書にて同意を得て行った。

【結果】1) 学生：配布81名、回収81名（回収率100%）。有効回答率は、100%であった。2) 到達度70%以上の項目（表1）は、厚生労働省の89項目に対して11項目であった。内容は【環境調整技術】2項目、【排泄援助技術】1項目、【活動休息技術】2項目、【清潔・衣生活援助技術】3項目、【褥瘡・創傷管理技術】1項目、【症状・生体機能管理技術】1項目、【感染予防の技術】1項目であった。到達度レベルⅢは、厚生労働省の21項目に対して5項目、到達度レベルⅣについては、厚生労働省の32項目に対し、15項目であった。3) 到達度40%未満の項目数（表2）はレベルⅠ・Ⅱにおいて27項目であった。到達度レベルⅢ

については、9項目であった。到達レベルⅣは3項目のみであった。

表1 到達度レベルⅠ・Ⅱで到達度70%以上の項目

	Ⅰ・Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
厚生労働省	89	21	32
学生	11	5	15

表2 到達度40%未満の項目数

	Ⅰ・Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
学生	27	9	3

【考察】学生の到達度は、厚生労働省の到達度レベルⅠ・Ⅱの項目数に達しておらず、極めて少ない項目数であった。これは学生自身もどこまで一人で実施してよいか、または指導者とともに実施してよいかと困惑している様子が見えがえる。学生は実習中、常に緊張状態である。技術習得状況を紙面に各領域で提示していても、自信のなさから到達度における自己評価が低いことが考えられる。学生が自信をもって技術の評価ができるような肯定的なフィードバックと臨地実習をイメージできる学習経験の機会が必要であり⁵⁾、実習での体験が技術の習得につながっていることも先行研究では明らかにされている⁶⁾。今後、シミュレーション教育やアクティブラーニングなどの教育方法を取り入れ、学生が自信をもって「習得できた」と感じられるよう取り組んでいかなければならないことが示唆された。

【結論】1) 本学学生の卒業時看護技術の到達度は、厚生労働省の示した到達度レベルⅠ・Ⅱにおいてきわめて低かった。2) 学生が自信をもって習得できたと感じられるよう、学習環境を整える必要がある。

【文献】

- 1) 厚生労働省：看護基礎教育のあり方に関する懇談会論点整理，2009.
- 2) 厚生労働省：看護教育の内容と方法に関する検討会報告書，2011.厚生労働省：看護基礎教育の充実に関する検討会報告書，2007.
- 3) 前掲1).
- 4) 中川米造：医学教育における体験学習、月刊ナーシング、11(4)、57、1991.
- 5) 福岡美紀：看護学生の基礎看護技術到達度の自己評価の実態、島根大学医学部紀要、37、73-79、2014.
- 6) 袖山悦子他：卒業期看護学生の看護技術の経験と自信度、第14回新潟医療福祉学会学術集会、79、2014.